

Panasonic®

取扱説明書（初期設定マニュアル）

入退室管理システム
虹彩カメラ

品番 **BM-ET330**



- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（7～8ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 本書は、虹彩カメラの初期設定のしかたについて説明しています。虹彩カメラによる認証方法や仕様などの詳細は、虹彩カメラ本体に付属されている取扱説明書をご覧ください。

商品概要

本機は入退室管理システムで使用する虹彩カメラです。虹彩カメラは、認証者（虹彩カメラにより認証行為を行う方）の目（虹彩）を撮影します。以下の用途に使用できます。

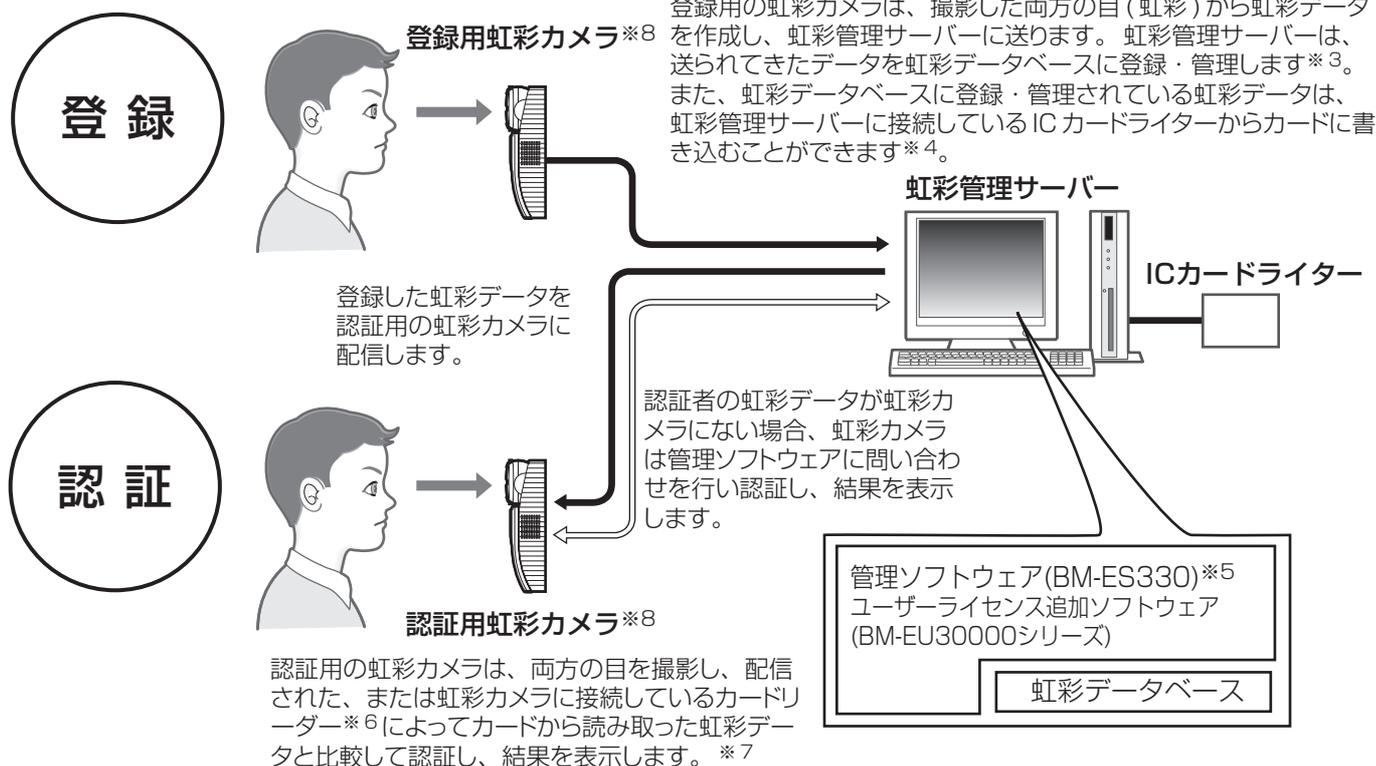
・虹彩を撮影し、虹彩管理サーバーに登録するための登録用虹彩カメラ

虹彩で認証するためには、認証する前に、認証者の虹彩を撮影し、虹彩管理サーバーに登録しておく必要があります。

登録用の虹彩カメラは、撮影した虹彩から虹彩データを作成し、同じLAN(Local Area Network)内の虹彩管理サーバーに送ります。虹彩管理サーバーは、虹彩データベースに虹彩データを登録します(最大5025人の虹彩データを登録できます)*1。

・認証に使用するための認証用虹彩カメラ

認証用の虹彩カメラには、虹彩管理サーバーに登録されている虹彩データのうち、1000人までの虹彩データを配信しておくことができます。認証用の虹彩カメラに認証用の虹彩データを配信しておくか、認証用の虹彩カメラに接続されているカードリーダーがカードに書き込まれている虹彩情報を読み出すことで、約1.5秒で認証することができます*2。認証者は虹彩カメラの前面にある、結果表示ランプ（OK/NG）で認証結果を確認できます。



※1: 虹彩カメラで作成された虹彩データを管理するためには、別売りの管理ソフトウェア(BM-ES330)が必要です。このソフトウェアを使用するためには、別途Microsoft® Windows® operating systemが動作するパーソナルコンピューター(以下PC)が必要です。登録できる人数は、ご購入いただいたユーザーライセンス追加ソフトウェア(BM-EU30000シリーズ)のライセンス数によって異なります。

※2: 認証時間は、認証条件によって異なる場合があります。

※3: 両目を撮影し、右目と左目の虹彩を別々に登録します。右目または左目どちらか1つの虹彩だけを登録して運用することもできます。

※4: 使用可能なICカードライターおよびカードについては、管理ソフトウェア(BM-ES330)に付属されているBM-ES330取扱説明書をお読みください。

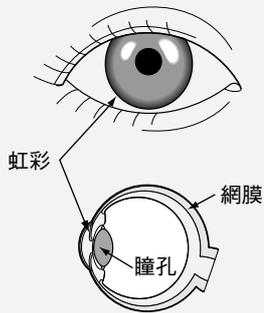
※5: 登録時、管理ソフトウェアは、正しく撮影できたかどうかを判断します。

※6: 使用可能なカードリーダーについては、虹彩カメラ(BM-ET330)に付属されている取扱説明書をお読みください。

※7: 右目または左目どちらか1つの目で認証します。

※8: 虹彩カメラは、登録用と認証用の合計で256台まで、同じLAN上にある虹彩管理サーバーに接続できます。

虹彩認証技術とは



- ・人間の目の中にある虹彩(眼球内にある円盤状の薄い膜)の複雑な模様が、個人によって異なることを利用し、個人を特定する認証方式のことです。同一人物でも右目と左目とでは、虹彩の様子が異なります。
- ・虹彩カメラで目(虹彩)を撮影することにより、非接触で個人を認証できます。
- ・虹彩認証では、登録されている虹彩と比較して本人であることを認証します。

商品の特徴

・音声ガイドと誘導ランプによる自動誘導・自動認証

虹彩カメラは、正面から約50 cm以内に近づくと、音声ガイドによる誘導を開始します。以後、音声ガイドまたは鏡に映し出される誘導ランプの指示に従って、両目が鏡に映るように移動すると、虹彩カメラは自動的に目(虹彩)を撮影し、認証後、結果を表示します。なお、虹彩カメラの認証範囲は、鏡から目までの距離で約30 cm~40 cmです。

・両目を撮影することにより、約1.5秒で認証可能^{※1}

虹彩カメラは、認証者の両目を撮影して、撮影した目の画像から虹彩データを作成し、虹彩カメラに配信された、または虹彩カメラに接続しているカードリーダーによって読み取った虹彩データと比較します。左右どちらかの目(虹彩)に相当する虹彩データが見つかり、登録された認証者として認証します。この場合、約1.5秒で認証し、結果を表示することができます^{※1}。

虹彩カメラに認証者の虹彩に相当する虹彩データがないとき、虹彩カメラは作成した虹彩データを虹彩管理サーバーに送ります。虹彩管理サーバーは、虹彩カメラから送られてきた虹彩データと虹彩データベースに登録されている虹彩データとを比較して認証し、結果を表示します(虹彩管理サーバーで認証することを上位認証と呼びます)。この場合、認証時間は約10秒かかります^{※2}。

・認証者の顔を撮影するサブカメラを内蔵

虹彩カメラは、内部に小型カラーカメラを内蔵しています。小型カラーカメラと録画機器を接続し、認証者の顔を録画できます。また、虹彩カメラの認証結果出力を利用し、認証できなかった認証者のみ録画することもできます。

・入退室管理システムを構成可能

虹彩カメラと虹彩管理サーバーに、ドア制御ボックス^{※3}、カードリーダー^{※3}、電気錠^{※3}などを組み合わせて、入退室管理システムを構成することができます。

・入退室管理システムの汎用インターフェースに対応

認証結果の出力は、入退室管理システムで一般的なインターフェースであるWiegand/RS-485^{※4}に対応しています。Wiegand/RS-485インターフェースに対応しているドア制御ボックスであれば、虹彩カメラに直接接続することができます。また、Wiegand/RS-485入力も1系統あり、Wiegand/RS-485インターフェースに対応しているカードリーダーを虹彩カメラに直接接続して、カードリーダーと組み合わせた入退室管理システムを運用することもできます。

・カードに書き込まれている虹彩データで認証が可能

虹彩管理サーバーでカードに認証者の虹彩データを書き込み、そのカードを虹彩カメラに接続されているカードリーダーに通すことで認証が可能となります。

※1: 認証時間は、認証条件によって異なります。

※2: 認証時間はネットワークの回線状態や登録されている人数によって異なります。

※3: 他社商品

※4: 弊社独自プロトコルを採用しています。

本書について

本書は、虹彩カメラの初期設定方法について説明しています。

虹彩カメラを使用し、虹彩認証を行うためには、設置完了後に初期設定を行う必要があります。虹彩カメラの基本的な使いかたや設置工事のしかたについては、虹彩カメラ（BM-ET330）に同梱の取扱説明書に記載してあります。本書と合わせてお読みください。

また、虹彩管理サーバーを使った虹彩データの登録のしかたや詳細な運用設定などは、本ソフトウェアが入っているCD-ROMに同梱されている管理ソフトウェア（BM-ES330）取扱説明書をお読みください。

- ・虹彩カメラの基本的な使いかたおよび設置工事のしかた : BM-ET330取扱説明書
- ・管理ソフトウェアの使いかた : BM-ES330取扱説明書

本書に掲載の画面はMicrosoft® Windows® XP Professional がインストールされているPCの画面です。

商標および登録商標について

- ・ Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Pentium®は米国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- ・ その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責について

- ・ この商品は、虹彩を利用して個人を認証するものであり、この商品単独で盗難などを未然に防止するものではありません。
- ・ 弊社は、いかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします：
 - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
 - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
 - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、登録または登録してあるにもかかわらず認証できない不便または損害
 - ⑤ 第三者の機器等と組み合わせたシステムにおける不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
(例：本商品と電気錠等を組み合わせた入退室管理システムにおいて、前項①～④のいずれかの理由または入退室管理システムとしての何らかの不具合によりドア開閉管理が適切になされない場合)
 - ⑥ 虹彩データ等の虹彩管理サーバーまたはカードにおける消失、あるいは漏えい等によるいかなる損害、クレーム等
(虹彩情報は個人情報です。虹彩管理サーバーまたはカードに登録された虹彩データはお客様の責任にて管理していただきます。)
 - ⑦ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害
 - ⑧ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど

用語について

本書は、以下の用語を用いて説明しています。

IDデータ: カードリーダーを用いた入退室管理システムなどでID認証を行うとき、個人ごとに登録されているデータのことです。入退室管理システムは、IDデータと虹彩データを一対一に関連づけて、管理しています。

Wiegand: 入退室管理システムのインターフェースとして使用されている通信方式のことです。

音声ガイド: 認証者の目を撮影範囲に誘導する方法の1つです。音声ガイドはスピーカーからの音声で誘導します。音声ガイドの内容は、管理者が管理ソフトウェアで設定します。設定内容は以下のとおりです。お使いになる虹彩カメラの設定状況は、管理者にお問い合わせください。

- ・ アナウンス時の言語を14カ国語から選択できます。
- ・ 音声の内容を「ミュート(音声は出力されません)」、「シンプル(シャッター音と認証結果を出力します。音声による誘導は行われません)」、「フル(音声による誘導、シャッター音、認証結果を出力します)」から選択できます。

管理ソフトウェア: 虹彩の登録、虹彩による認証を管理するためのソフトウェア(BM-ES330)のことです。別売りのユーザーライセンス追加ソフトウェア(BM-EU30000シリーズ)のライセンス数に応じて、登録できるユーザー数が異なります。ユーザーライセンス追加ソフトウェア(BM-EU30000シリーズ)をインストールしない場合、登録できるユーザー数は25人です。

虹彩カメラ: BM-ET330のことです。

虹彩管理サーバー: 以下のソフトウェアをインストールしたPCのことです。虹彩管理サーバーは、同じLAN内にある虹彩カメラを管理できます。

- ・ 管理ソフトウェア(BM-ES330)
- ・ ユーザーライセンス追加ソフトウェア(BM-EU30000シリーズ)

虹彩データ: 撮影した目の画像から虹彩の模様を抽出し、決められた規則に従ってコード化されたデータのことです。

虹彩認証: 人間の目の中にある虹彩の複雑な模様が個人によって異なることを利用し、個人を特定する認証方式のことです。

上位認証: 虹彩カメラに配信された虹彩データの中に、認証者の虹彩データがないとき、虹彩データを同じLAN内の虹彩管理サーバーに送り、虹彩管理サーバーで認証することです。上位認証を行うかどうかは、管理者が管理ソフトウェアで設定します。

登録: 個人の虹彩を名前やIDなどの個人データと関連づけて、虹彩管理サーバーに保存することです。虹彩の登録は管理ソフトウェアで行います。

入退室管理システム: 虹彩認証技術を用いて、虹彩カメラ、虹彩管理サーバーなどと、ドア制御ボックスやカードリーダー、電気錠などを組み合わせて入退室の管理を行うシステムのことです。

認証: 虹彩カメラが撮影した虹彩と、虹彩データベースに登録されている虹彩データまたはカードから読み取った虹彩データとを比較して、本人であることを確認することです。

配信: 虹彩管理サーバーに登録されている虹彩データを虹彩カメラに送り、虹彩カメラの中に保存することです。

ユーザーライセンス追加ソフトウェア: 虹彩を登録するために必要なソフトウェア(BM-EU30000シリーズ)のことです。登録人数に応じたユーザーライセンス追加ソフトウェアを別途購入していただく必要があります。ただし、管理ソフトウェア(BM-ES330)に25人のライセンスが付属しています。

100人用: BM-EU30100 3000人用: BM-EU33000
1000人用: BM-EU31000 5000人用: BM-EU35000

もくじ

ご使用前に

商品概要	2
商品の特徴	3
本書について	4
商標および登録商標について	4
免責について	4
用語について	5
安全上のご注意(必ずお守りください)	7
各部のなまえ	9

設定のしかた

初期設定のしかた	11
初期設定ソフトウェアのインストールと作業の流れ	11
起動画面と設定内容	13

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

ご使用前に

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

重量（質量）に耐える場所に取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因となります。

- 取付場所を補強してください。

⚠ 注意

落とさない、強い衝撃を与えない



禁止

けがや火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電の原因となります。

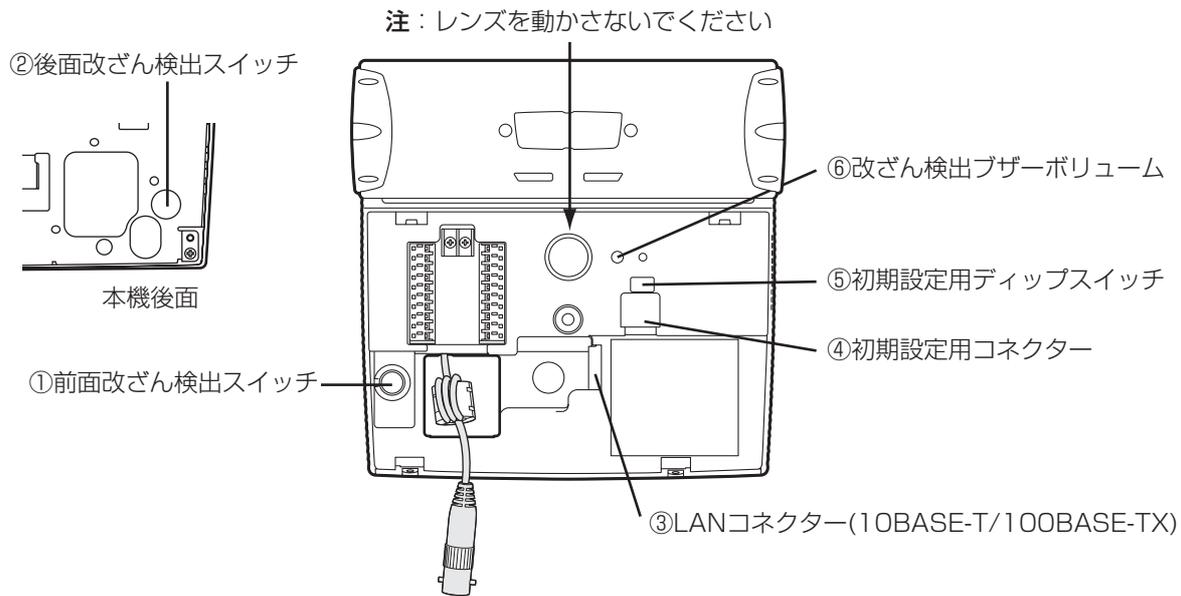
指はさみ注意



指に注意

前面パネル可動部と本体の隙間に手や指をはさまないように注意してください。けがの原因となります。

各部のなまえ



① ② 前面および後面改ざん検出スイッチ

虹彩カメラ内部の登録データや設定値を保護するための改ざん検出スイッチです。前面の改ざん検出スイッチは、カバーが正しく閉じられているとき、スイッチが押され運用状態となります。後面の改ざん検出スイッチは、虹彩カメラが壁に取り付けられているとき、スイッチが押され運用状態となります。

電源が入った状態でカバーを開けたり、虹彩カメラを壁から取り外したりすると、このスイッチが動作し、改ざん検出状態となります。スイッチが動作すると虹彩カメラのブザーが鳴り、虹彩管理サーバー側に改ざん検出が通知されます。同時にアラーム出力（改ざん検出）端子からアラームが出力されます。また、虹彩カメラに登録されていた虹彩データは消去されます。その後、一定時間内に改ざん検出解除をしない限り、設定値および虹彩カメラに内蔵している動作ソフトウェアが消去されます。工場出荷時の状態に戻りますので、再度初期設定を行う必要があります。

後面の改ざん検出スイッチ出力または前面の改ざん検出スイッチのどちらか一方でも動作すると改ざん検出状態となります。

改ざん検出スイッチは、初期設定用ディップスイッチのスイッチNo.3で解除することができます。虹彩カメラの配線や初期設定等の作業を行うときは、改ざん検出を解除してください（詳しくは12ページをお読みください）。初期設定作業終了後、スイッチNo.3を検査状態にしてカバーを閉めると、虹彩カメラは消去した虹彩登録データを虹彩管理サーバーから自動的にダウンロードし、運用可能状態となります。

注：後面の改ざん検出スイッチの突起が当たる部分の壁面が柔らかかったり、へこみがあったりした場合には、改ざん検出スイッチが十分に押されず通常状態とならない場合があります。十分に強度のとれる平らな場所に取り付けてください。

③ LANコネクタ

虹彩管理サーバーと接続します。10BASE-T/100BASE-TXに対応しています。

④ 初期設定用コネクタ

管理ソフトウェア（BM-ES330）に付属の専用ケーブル（初期設定用ケーブル）で初期設定用PCと接続します。初期設定用PC側は、シリアルポートに接続してください。

初期設定のしかたは、11～15ページをお読みください。

各部のなまえ

⑤ 初期設定用ディップスイッチ

初期設定時に虹彩カメラのモードを切り替えるスイッチです。各スイッチの割り当てを次に示します。

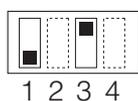
スイッチNo.	用途	ON	OFF
1	モード切替	スイッチ3との組み合わせ	
2	カードリーダー側RS-485終端設定 ONに設定してください。	終端	開放
3	モード切替	スイッチ1との組み合わせ	
4	ドア制御ボックス側RS-485終端設定 システム構成に合わせて設定してください。	終端	開放



工場出荷時は、上図のように、すべてOFFに設定されています。

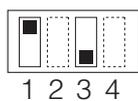
●初期設定モード

虹彩カメラを初期設定状態にするには、下図の設定にします。



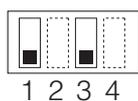
●通常運用モード

虹彩カメラを通常運用状態にするには、下図の設定にします。



●起動プログラム切替

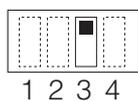
虹彩カメラが使用するプログラムを切り替えます。何らかの要因により、虹彩カメラに組み込まれているプログラムで起動しなくなったとき、下図の設定にし電源を再投入すると工場出荷時の初期プログラムで起動します。起動時は初期設定状態になります。起動後はディップスイッチの設定を通常運用状態に戻し、パネルを閉めてください。



●改ざん検査切替

改ざん検出スイッチによる改ざん検出を解除します。ONが改ざん検出解除状態です。

改ざん検出を解除するとブザー音が止まります。



注：カバーを閉めるときには、スイッチNo.3を改ざん検査状態（OFF側）にしてください。
解除状態（ON）のままカバーを取り付けると、虹彩カメラは正しく再起動できません。

⑥ 改ざん検出ブザーボリューム

改ざん検出時に鳴るブザーの音量を調節します。

注：改ざん検出ブザーボリュームに力を加え過ぎると、破損するおそれがありますので、力の加減に注意してください。

初期設定のしかた

初期設定ソフトウェアのインストールと作業の流れ

初期設定は管理ソフトウェアに付属されている専用ケーブルで、PCと虹彩カメラを接続し、管理ソフトウェアのCD-ROM内にある初期設定ソフトウェアで行います。

初期設定ソフトウェアの動作環境

初期設定ソフトウェアの動作環境は以下のとおりです。

項目	条件
対応CPU	Pentium® 300 MHz以上
メモリ	128 MB以上
ハードディスク空き容量	2 MB以上
シリアルポート	D-SUB9ピン1ポート
対応OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® XP Professional
CD-ROMドライブ	(必須)
ディスプレイ解像度	800×600 ピクセル以上推奨

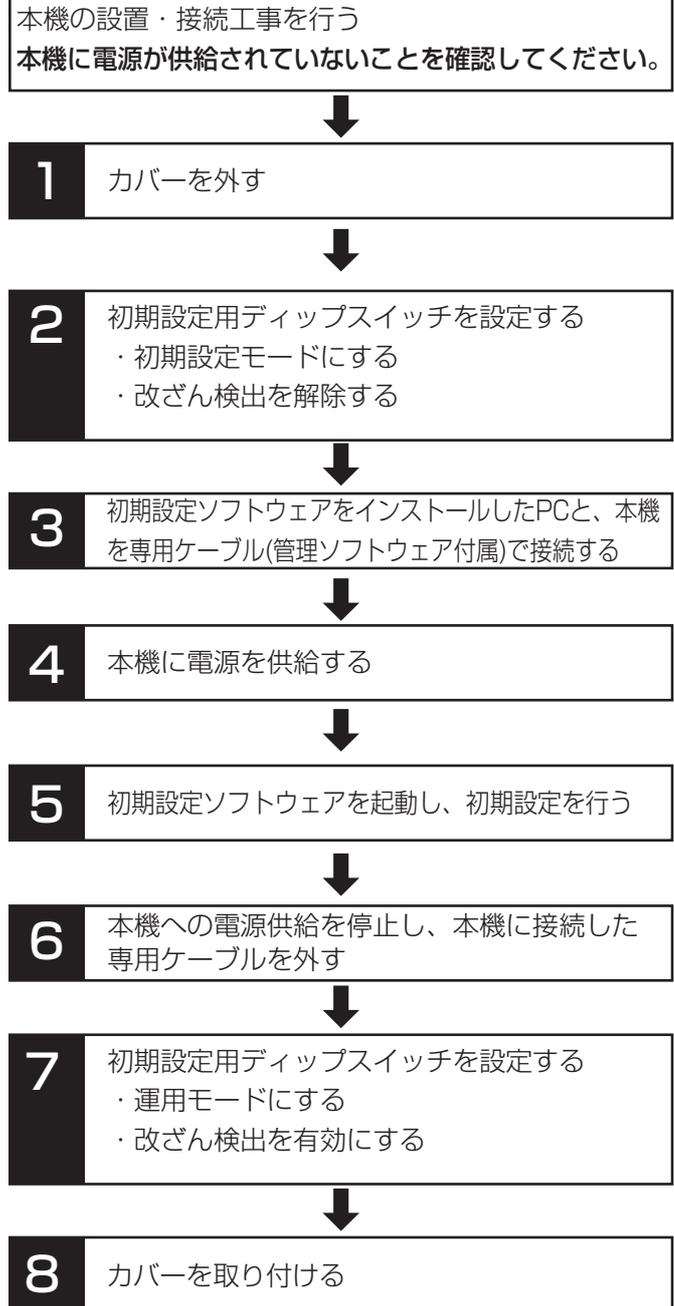
インストールのしかた

管理ソフトウェアのCD-ROMをPCにセットし、Initial-ET330フォルダにあるSetup.exeをダブルクリックします。インストール画面が表示されますので、指示にしたがってインストールしてください。

なお、インストール中プロダクトキーを入力する必要があります。プロダクトキーは、管理ソフトウェアのインストールCDのケースに記載されています(プロダクトキーは、管理ソフトウェアと初期設定ソフトウェアで同じものを使います)。

初期設定ソフトウェアが不要になった場合は、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を実行し、「BM-ET330 setup software」を削除してください。

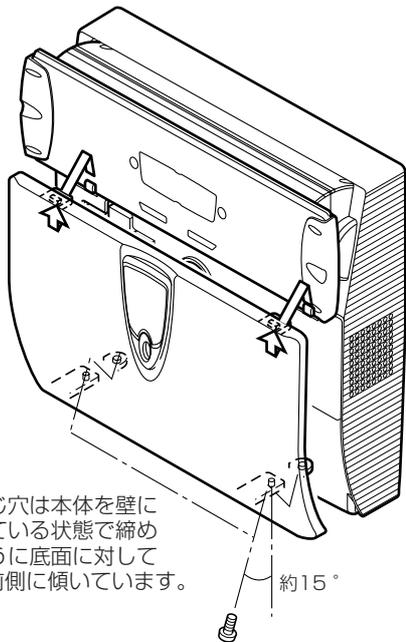
初期設定作業の流れ



初期設定のしかた

1 カバーの取り外し

カバーを取り外すときは、下図のように虹彩カメラ底面にあるタンパねじを外してください。タンパねじを外すときは、虹彩カメラに付属されているタンパねじ用ドライバービットを使用してください。



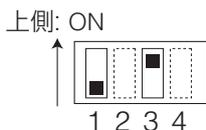
タンパねじ穴は本体を壁に取り付けている状態で締めやすいように底面に対して約15°前側に傾いています。

付属タンパねじ用ドライバービットを用いて外します。

注：虹彩カメラに電源が入った状態でカバーを取り外すと、改ざん検出スイッチが動き、ブザーが鳴りますので、電源を切った後にカバーを取り外してください。また虹彩カメラの電源を切ることができない場合は、カバーを開けた後に、初期設定用ディップスイッチの設定で改ざん検出を解除することによりブザーを止めることができます。

2 初期設定用ディップスイッチの設定

初期設定作業を行う場合、下図のように3番スイッチをONにし、改ざん検出を解除します。1番スイッチはOFFにします。



3 虹彩カメラと初期設定用PCを専用ケーブルで接続する

初期設定ソフトウェアをインストールしたPCと虹彩カメラを管理ソフトウェアに付属されている専用ケーブルで接続します。

丸形コネクタを虹彩カメラ側に接続し、D-SUB9ピン側をPCに接続します。丸形コネクタを虹彩カメラに接続する場合、ケーブルを左側に向けて差し込んでください。

4 虹彩カメラに電源を供給する

外部電源の電源スイッチをONにします。誘導表示および結果表示が消灯するまでお待ちください。

5 初期設定ソフトウェアを起動し、初期設定を行う

初期設定ソフトウェアは以下の手順で起動します。

1. インストール時に指定したフォルダ内にある「BM-ET330 setup software.exe」をダブルクリックする。

Login画面(下図)が表示されます。



2. 虹彩カメラとの接続に使用しているCOMポートを選択し、パスワード(半角英数)を入力する。

- ・ 使用できる文字: a-z,A-Z,0-9(大文字と小文字は区別されます)
- ・ 文字数: 6~16文字
- ・ 工場出荷時パスワード: BMET330

正しいパスワードを入力すると、虹彩カメラに設定されている設定値が初期設定ソフトウェアに読み込まれます(設定値の読み込みには、数秒かかります)。

設定値の読み込みが完了すると、「Completed.」メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、起動画面が表示されます(次ページ)。

3. お使いになるシステムに適した値に各項目を設定する。

13ページの「起動画面と設定内容」をお読みください。

4. [Store] ボタンをクリックする。またはメニューバーより [Connection(C)] メニューの [Store(S)] を選択する。

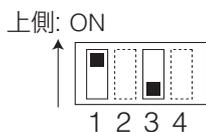
変更内容を虹彩カメラに書き込みます。「Store this setting?」メッセージが表示されますので、設定内容を確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。設定値の書き込みが完了すると、「Completed.」メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。

5. [Close] ボタンをクリックし、初期設定ソフトウェアを終了する。

6本機への電源供給を停止し、本機に接続した専用ケーブルを外す

7初期設定用ディップスイッチを運用状態に設定する

スイッチ1およびスイッチ3を下図のように設定してください。



注：正しく設定しないと、正常に起動しませんので注意してください。

8カバーを取り付ける

起動画面と設定内容



メニューバー

• File(F)メニュー

Open(O): Save(S)で保存したファイルを読み込みます。読み込み可能なファイルはSave(S)で保存したファイルだけです。

Save(S): 設定値をファイルに保存します。ファイルの種類(Setup data(*.dat))は変更しないでください。

• Connection(C)メニュー

COM Port Connection(C): COM port Connection画面を表示します。この画面で、Login画面で設定したCOMポート(COM1またはCOM2)を切り替えることができます。



Load(L): 虹彩カメラに設定されている設定値を初期設定ソフトウェアに読み込みます。

Store(S): 設定値を虹彩カメラに書き込みます。設定が有効になるのは虹彩カメラの電源を入れ直したとき、またはリセットしたときです。

• Tool(T)メニュー

Set password(P): Set password画面を開きます。この画面で、初期設定ソフトウェア起動時に使用するパスワードを変更します。パスワードは半角英数字6~16文字で入力してください。



New passwordに新しいパスワードを入力します。確認のためConfirm new passwordに新しいパスワードを再入力します。入力後、[OK] ボタンをクリックします。

Version(V): 初期設定ソフトウェアのバージョンを表示します。[OK] ボタンをクリックすると画面を閉じます。



ボタン

• Loadボタン

虹彩カメラに設定されている設定値を初期設定ソフトウェア読み込みます。

• Storeボタン

設定値を虹彩カメラに書き込みます。設定が有効になるのは虹彩カメラの電源を入れ直したとき、またはリセットしたときです。

• Closeボタン

初期設定ソフトウェアを終了します。

初期設定のしかた

設定項目

ET330 ID：虹彩カメラのIDを10進数で入力します。1から99999の数値を設定できます。管理ソフトウェアで設定した値と一致している必要があります。

初期値：1

・ネットワーク設定項目

ET330 IP Address：虹彩カメラのIPアドレスを設定します。

初期値：192.168.0.3

Server IP Address：虹彩管理サーバーのIPアドレスを設定します。

初期値：192.168.0.2

Gateway IP Address：虹彩カメラを接続するネットワークのゲートウェイのIPアドレスを設定します。

初期値：192.168.0.1

Subnetmask：虹彩カメラを接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。

初期値：255.255.255.0

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	BM-ET330
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410